|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 選択・範囲・程度 | 学習指導要領との対応 | ・学習指導要領の示す目標，内容に対応し適切な教材を用意している。・「音楽を形づくっている要素」であるリズム，メロディー，ハーモニー，言葉を主軸にした教材（「ONGAKUをはじめよう」）を用意している。・歌唱，器楽領域は，学習指導要領の示す目標，内容に対応した教材を十分に用意している。・創作領域は，音楽を形づくっている各要素を個別に取り上げ，それらを知覚，感受する学習がしやすいよう工夫している。・鑑賞領域は，中学での学習からの継続・発展を意識した内容になっている。・批評する活動をする際のポイントを解説した項目を用意している（「音楽を聴いて感じたことを自分の言葉で書いてみよう」）。・音楽の著作物などを尊重するためにどのような注意が必要かなど，著作権について学習できる項目を用意している。 |
| 基礎的，基本的な内容の取扱い | ・音楽の基礎となる要素を理解できる教材，楽譜の読み書きについて解説した教材（「ONGAKUをはじめよう」）を用意している。・「からたちの花」「caro mio ben」「野ばら」など，基礎的な楽曲教材を用意している。・郷土の音楽，アジア地域，諸外国の音楽，作曲家年表など，音楽文化を理解するための基礎的な資料を豊富に用意している。 |
| 内容の公正さ | ・楽曲教材は，古今東西の音楽をバランスよく取り扱っている・歌唱，器楽，創作，鑑賞，日本の音楽，多様な音楽文化の理解など，バランスのとれた構成になるよう配慮している。 |
| 構成・配列 | 系統的，発展的構成相互の関連 | ・歌唱，器楽，鑑賞，創作と領域ごとにまとめた，シンプルでわかりやすい構成・関連性を持って楽曲教材が配列されている。・表現と鑑賞は相互に関連性を持たせている。・「ONGAKUをはじめよう」と各楽曲，創作の内容は相互に関連性を持たせている。・関連性を意識した学習がしやすいよう，音楽史と鑑賞教材を紙面の上下に配置している。 |
| 説明文，注，資料と主たる記述の関連付け | ・楽曲に関連付けて「memo」「point」「try」に分けて解説文を配置し，楽曲について理解しやすいよう配慮している。 |
| 生徒が活動する際の配慮 | ・アクティブ・ラーニングに対応し，創造的に知識と実践を結びつける学習ができるよう，解説だけでなく実践のための短い譜例を配置するなど工夫している（「ONGAKUをはじめよう」など）。・創作は，易しく小さな課題に一つずつ取り組んでいき，大きな曲作りができるような構成にし，創作経験の少ない生徒に配慮している。 |
| 表記・表現・体裁 | 表記・表現の工夫・配慮 | ・譜読みがしやすいよう，楽譜の五線や音符のサイズ，歌詞のフォントなどを工夫している。・「ONGAKUをはじめよう」，「創作」は直接音符等を記入する欄を設け，生徒の自発的な学習を促すつくりになっている。 |
| 判型の配慮 | ・「見やすい楽譜の大きさ」とのバランスに配慮した判型（A4変型） |
| 写真やイラスト，図版 | ・見やすく，生徒の興味・関心を高めるよう配慮した明るく鮮やかな配色・生徒の興味・関心を高めるよう，豊富な写真，イラストを用意している。 |
| 印刷・造本 | ・目に優しい色の紙を使用している。・開きやすく，かつ堅牢な製本 |
| 総合所見 | 全体的・総合的な当教科書の特徴 | ・学習指導要領に示す事項を不足なく取り上げながら，時代の変化に即した「生きる力」を育む，個性的で創造的な教科書を意図している。・音楽の基礎・基本を学ぶ出発点となる教材「ONGAKUをはじめよう」を用意し，そこから表現・鑑賞へと相互に関連性を持たせながら，自主的・創造的・活動的な学習ができるよう工夫している。 |